



家庭における親の教育力の向上について（平成16年2月定例会）

家庭教育は全ての教育の出発点であり、親子の愛情やふれあいを通じて、豊かな人間性の基礎をつくる上で重要な役割を担っていると言われていいます。

家庭の教育的役割は、家族の温もりの中で社会の善悪を教え、社会人として生きるための基本をしっかり教え込むこと、本能だけに頼って自分勝手な判断をしないように自分で考える力を身につけさせる事にあります。

①子育てに不安を抱える親たちに対する「親の教育」について、どのようなご所見をお持ちでしょうか。

②「家庭教育の指針」を掲げ、家庭の教育力向上に関する社会の機運醸成に取り組まれてはいかがでしょうか。

③健康な体の基礎となる「食」や豊かな心を培う「読書」を通じた親子のふれあいは、家庭教育力の再生を進めるうえで欠くことができないキーワードになるのではないかと考えますが、こうしたキーワードを活かした家庭教育力の再生について、今後、どのように取り組まれるのか、お伺いいたします。

【教育長答弁】

- ① 「親の教育」について新たに、家庭教育相談員等を家庭に直接派遣する取り組みを進め、よりきめ細かな支援に努めてまいります。
- ② 家庭教育力の向上に向けた機運の醸成についてであります。来年度は、父親の家庭教育への参加を考える集いや、企業等への出前講座を拡充してこれにも取り組んでまいります。また、現在、県の「社会教育委員会議」におきまして、お示しのありました「指針」等を含め、検討してまいりたいと考えております。
- ③ 子どもの元気創造に向け、「食育」と「読書」、そして、「遊びとスポーツ」を柱とし、学校、家庭、地域、PTA等関係機関と連携して、各種の事業を実施し、子どもたちが望ましい食習慣や読書習慣などを身につけ、また、外遊びをするよう取り組んでいくこととしております。